



おさなま

No. 11
2026. 1. 7

「準備」と「仕上げ」の3学期（始業式の校長先生のお話より）

令和8年がスタートしました。皆さん、はじめに新年の挨拶をしましょう。「明けましておめでとうございます。」今年は午（うま）年、馬は神様の使いとされ、交通安全や健康を表し、エネルギーいっぱいの縁起のいい年だと言われています。雄踏小も馬のように元気いっぱいの年になるといいですね。

うまくいく
いかなくとも
がんばる♪

2026 令和8年



去年の3学期始業式では、3学期は、学校へ来る日は短いけれど、2つの理由から、とても大切な学期だというお話をしました。

1つ目の理由は、3学期は「準備する学期」だからです。4月になると次の学年に進級します。6年生は中学校へ進学し、他の皆さんには1学年上のお兄さんお姉さんになります。3学期は、その気持ちやこころの準備をする大事な学期です。

2つ目の理由は、3学期は「仕上げる学期」だからです。今の学年で身に付けなければいけないことをしっかりと仕上げる、しなくてはいけないことを最後までやり切らなければ、次の準備はできませんね。特に、6年生は、小学校の総仕上げの学期になります。中学校へ羽ばたいていくためにも、雄踏小の最高学年として、小学校でのことをやり切って、最後までみんなが憧れるお兄さんお姉さんであってほしいです。

「準備」「仕上げ」この大事な2つを意識して、3学期もがんばっていきましょう。

そしてもう1つ、令和8年のスタートにあたって、校長先生がみなさんにお願いしたいことがあります。それは「言葉を大切にすること」を心がけてほしいということです。「言葉遣いは心遣い」という言葉があります。使う言葉の選び方、伝え方が相手への思いやりを表します、という意味の言葉です。

ことば たいせつ
言葉を大切にする
ゆうとうしょう こ
雄踏小の子に
なってほしい



2学期に保健委員会の人が保健週間の時、「言われてうれしい言葉」の企画を立ててくれました。クラスに、一人一人の言われてうれしい言葉が貼られていると思います。素晴らしい企画です。保健委員会の人、ありがとうございます。色々なクラスを見ました。その中で「ありがとう」は圧倒的に多かったです。他には「いっしょにやろう、いっしょに遊ぼう」「がんばったね」「だいじょうぶ?」「すごいね」「上手だね」「大好き」・・・想像してみましょう。こんな言葉がいっぱいの学校だったら、にこにこ・わくわく・もりもりの心が、どんどん膨らみそうです。

お話の最後に1つの詩を紹介します。星野富弘さんという、事故で首から下が動かなくなってしまっても、口に筆やペンをくわえて、絵や詩を書いた人の詩です。

かがみにうつる
かおを見ながら思つた
もうわる口を
言うのはやめよう
わたしの
口からでたことばを
一ばんちかくできくのは
わたしの耳なのだから



3学期、雄踏小のみんなで、言葉を大切にしていきましょう。そして、新しい学年へとよい準備と仕上げができるようになんばりましょう。雄踏小の先生たちは全員全力で応援していきます。



【来年度へ向けて】

先日は、学校アンケートへ御協力ありがとうございました。結果をまとめたものは1月中にお知らせしたいと思います。また、アンケート結果をもとに12月末から、来年度の教育課程についての話し合いを進めております。子供たちのよいところを伸ばし、課題を改善し、誰もが楽しく成長し合える学校となるように全職員が関わりながら進めていきます。本年度と変更する点がある場合、隨時お知らせしていきます。今後とも御理解と御協力をよろしくお願ひします。